

## 2 開かれた、市民にわかりやすい市政

### 4 『質問』「倉吉市市民参画と協働のまちづくり推進条例」の市政への活用は？

『市長答弁』地域の支援として、集落支援員、まちづくり協力隊、元気のでる地域づくり支援事業等がある。市民意識調査、市民ふれあいトーク、まちづくり評価会議等にも活用されている。情報の共有という点では、市報、ホームページ、フェイスブック等。

### 5 『質問』市職員のまちづくりに関する取り組み、働きぶりに対する市長の考えは？

『市長答弁』市の職員はいかにきちっとサービスを提供するのが大切。良い面、まだまだといった評価をそれぞれいただいている。現場主義をもっと徹底していかなければならないと考えている。

『藤井』さらに市民に信頼される行政とするため、アフターフォロー・中間報告をきちんとするよう努めて欲しい。

人は知恵と勇気を持った生き物である。夕張市やデトロイト市のように自治体の倒産もある時代。市民一丸となってまちづくりに努めなければならない。そのためにも「まちづくり推進条例」の理念、内容をもう一度確認することが大切である。



## 3 総合教育会議について

### 6 『質問』○事務局はどこが持つのか？ ○総合教育会議は公開か？

○「教育振興基本計画」を「大綱」とするののか？

○学校統合問題も協議題に入ると考えるが、どこまで協議するののか？

○いじめ問題などが協議対象となる場合の対応について

○議会への報告・説明はどのように行うののか？

『市長答弁』事務局は教育委員会で補助執行する。公開が原則である。

『教育長答弁』大綱は、教育振興基本計画を骨子として、加えるものがあるか検討する。学校の統合問題についても協議題となる。教育基本計画に基づく施策、学力、不登校、いじめ問題、学校の施設等が協議題となる。子育て・地域振興等も「教育」という観点から協議題となることもある。

いじめ問題については、時には市長と教育長とで協議するケースも考えられる。議会への報告については、全員協議会、常任委員会等を通じて報告する。

『藤井』新しい制度で市民の関心も高い。開かれた総合教育会議となるよう努めて欲しい。

学校の統合問題は、人口推計のある6年後など具体的な資料で話し合うことが必要。

校地校舎の活用、財政面も市としての考えや地元の意見等総合的な話し合いが大切。

いじめ問題は決してよそ事ではなく、いつどこで起こるかわからないという気持ちで取り組んで欲しい。



## <議案質疑>

### 繰越明許費補正「旧明倫小学校円形校舎等除去事業」について

1 『質問』この円形校舎は、歴史的文化的価値を認めながら、耐震性・老朽化への対応で行政・議会とも苦慮してきている。予算凍結(取り壊し)以降の様々な動きや市長答弁等勘案し、不用額として処理し、必要に応じて対応可能な予算立てもあると思うが、如何か。

耐震調査では、IS値が0.35(震度6の地震が発生した場合、「倒壊、または倒壊する危険性がある」)であった。緊急避難道路にも面しているので、安全対策が早急に必要だと考えるがどうか。

この問題の解決が、今後のまちづくり、市政運営に大きく影響する。市長自ら出て調整にあたり、方向性や市の姿勢を示すことも大切だと考えるが、如何か。

『総務部長答弁』停止条件付予算執行である。どのようにするのか結論が出ていない。明倫体育館の解体も含まれている。1年間の延伸ということである。安全対策について、窓枠の修理等している。とりあえずの対応は出来ている。

『市長答弁』当然出るべき時には出る。まだ、その段階ではない。



円形校舎 (ウragamiベディアより)

### 「協働のまちづくり」～倉吉打吹まつりについて

2 『質問』実行委員会の構成メンバー・人数はどうなっているか。運営にあたって部会